

③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

太陽光併用型LED照明施設で栽培された多輪促成栽培胡蝶蘭の生産・販売事業

独自に開発した胡蝶蘭の栽培に最適な光の波長・強度を実現したLED照明器具を活用して太陽光併用型施設より栽培された多輪促成栽培胡蝶蘭の開発・生産及び販路拡大に取り組む。

連携体

農林漁業者

豊川洋蘭園(農業)

LED照明の近接照射による栽培方法を確立し、多輪促成栽培胡蝶蘭の栽培に取り組み新たな市場を開拓する。

中小企業者

(有)豊川温室(製造業)

胡蝶蘭の栽培に最適な独自に開発したLED照明器具の製造に取り組む。

(株)サイエンス・クリエイト、豊川信用金庫、

サポート機関等

(独)中小企業基盤整備機構中部本部

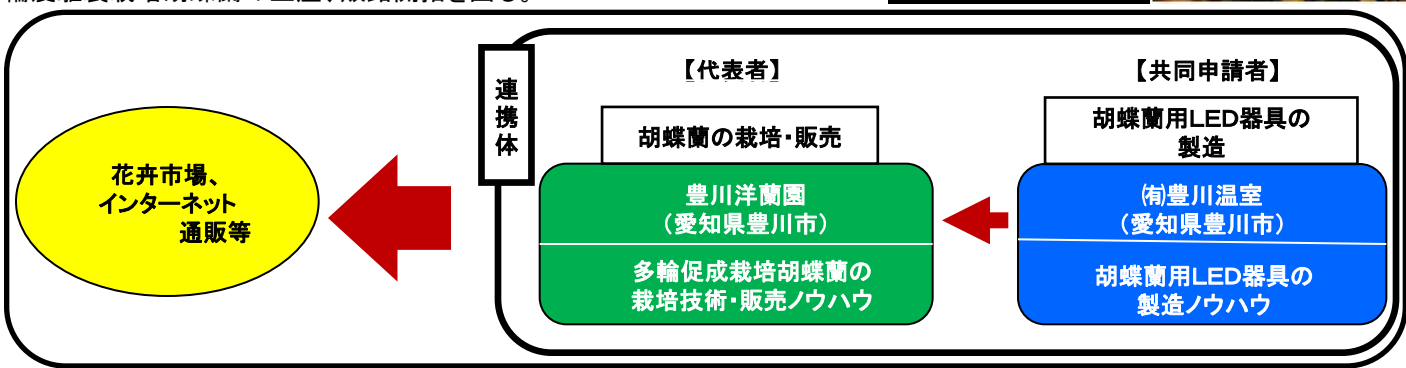
連携の経緯

愛知県豊川市で胡蝶蘭を生産する豊川洋蘭園は、高付加価値の胡蝶蘭栽培による栽培面積あたりの単価増加と栽培効率化を図る中、新たな商品の開発を進めていた。そうした中、LEDの照射による胡蝶蘭の光形態形成反応に着目し、新たな胡蝶蘭の開発に着手。愛知県豊川市でガラス温室を中心とする農業施設を販売する(有)豊川温室は、農業の栽培効率化を図るためLED照明器具の開発に着手。両者で連携しLED照明器具と太陽光を活用した新たな胡蝶蘭の開発、安定生産することに取り組み、連携して多輪促成栽培胡蝶蘭の生産・販売を行うことになった。



連携に当たっての課題や工夫等

(有)豊川温室は、園芸施設、植物工場等の設計に参画する中、新たに独自の光波長を有するLED照明器具の開発に着手し、LED照射により胡蝶蘭の発芽、開花、茎の伸長等光形態形成反応に作用させるLED照明器具の開発・製造に取り組む。豊川洋蘭園は、高付加価値胡蝶蘭の開発を行う中、新たに独自に開発したLED照明照射による栽培方法と新たな仕立て技術により多輪促成栽培胡蝶蘭の生産、販路開拓を図る。



連携による効果

農林漁業者

4年で2,000万円の売上高増加による収益力の向上、栽培面積の増加

多輪促成栽培胡蝶蘭を栽培することで売上高増加と収益力の向上が確保される。新たなブランド構築が期待される。

中小企業者

4年で3,180万円の売上高増加、新市場の開拓

胡蝶蘭の栽培に適したLED照明器具の製造・販売を実施、新たな市場を開拓することで経営の向上が期待される。

代表企業等の連絡先

企業等名：豊川洋蘭園
TEL：0533-86-5701
E-mail：info@toyokawaorchid.com

所在地：愛知県豊川市市田町東新屋8
FAX：0533-86-6313
ホームページ：http://toyokawaorchid.com/